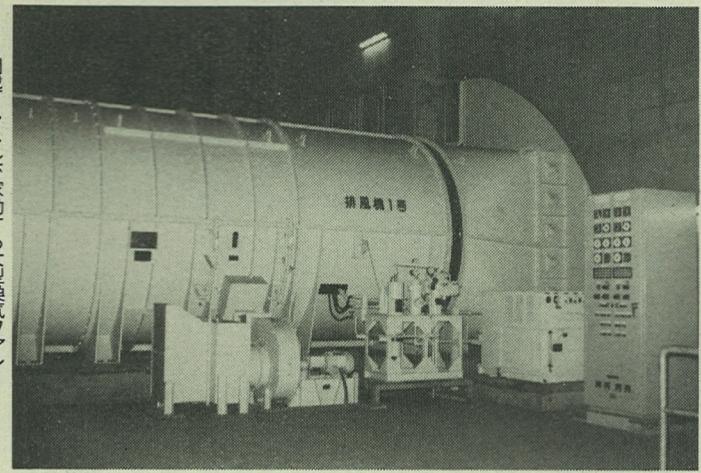


日韓を道路で結ぶ



関起一、三ノ一程傳

表-1 道路トンネル換気方式一覧表

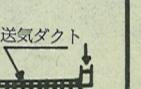
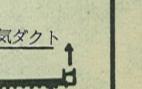
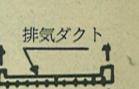
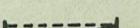
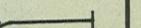
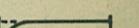
換気方式	縦流式			半横流式		横流式
基本事項	換気風は車道に沿って流れる			ダクトで送排気し車道を縦流する		送・排両方のダクトを有し車道に直角に流れる
代表形式	ジェットファン式	サッカルド式	立坑送排気式	送気半横流式	排気半横流式	
形式の特徴	ファンによる送気	噴流による送気	噴流による送気	送気ダクト	排気ダクト	
換気略図	ジェットファン群 					
濃度分布						
一般的特徴	適用延長は2000m以下が標準 ダクトが不要のため断面が小さくてすむ	適用延長は2000m以下が標準 坑口付近の換気所にファンを設置するので維持管理が容易	適用延長は制限がない	適用延長は3000m以下が標準	中性点でのガス濃度が著しく増大 坑口から汚染空気を排出しないので坑口付近の環境は良好になる	適用延長は2000m以上が標準 ダクトが必要となり設備費・維持費とも高くなる 火災時の排煙が効果的にできる

図-1 日韓トンネル換気計画概要図

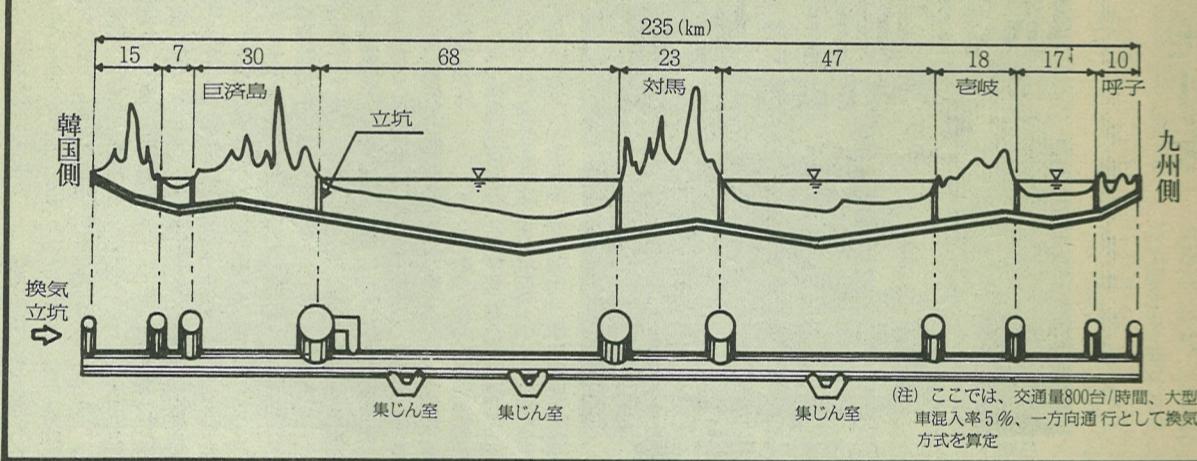


表-3 排出ガス測定値の比較表

車種	NOx (g/km)	黒煙(%)
メタノール車	0.29	0
ディーゼル車	1.08	24

換気方式の推定
走行交通量と大型車混入
求められた換気量に
最適と考えられる換気
的としている。
ガス中の有害成分ご
とのため本計画では、
交方式ではなく、集じ
中した換気設備が効果
される。従って換気立

卷之三

お多が二〇四年の有言無言分は、田畠四十一年以降、排ガス規制によってはなく、内燃機関の改善によって減少し、現在乗用車では規制車の十数%以下となっている。しかし煤煙については、ディーゼル車を対象に検討が加えられてきたが、減少効果はばかりかしない。従って所要換気量は、酸化炭素や窒素酸化物については少なく、煤煙については極めて大きな値となっている。

有害成分の発生量を合わせながら排気量の計算を進めてゆく。即ち交通量は八段階（毎時二十五台／八百台）、大型車混入率は六段階（五%、四十五%）に分けた。更に排気量の算定に際しては、トンネル総断勾配による補正も考慮している。また対面交通と一方向通行についても換気方式を検討する。

ての許容濃度を表-12に示す。なお表中の煤煙発生量は、値ではなく、実測値から算出したものである。

表一-2 有害成分發生量と許容濃度

表-2 有害成分発生量と許容濃度			
成分	車種	発生量(一台あたり)	許容値
CO	ガソリン車	2.3(ℓ/km)	50ppm
	ディーゼル車	5.5(ℓ/km)	
NOx	ガソリン車	0.25(ℓ/km)	25ppm
	ディーゼル車	3.4(ℓ/km)	
煤煙	ガソリン車	排気ガスの5%	50%透過率
	ディーゼル車	排気ガスの20%	

利用した集じん機付縦流換気方式と、式や集じん機付横流換気方式といったものになるであろう。また両方式の設備費と動力費を概算すると、縦流式の方がかなり有利になることがわかった。

集じん機付縦流換気方式は、関越トンネルでも採用されており、一方向通行の場合、特に有利となつてゐる。同換気方式を日韓で採用した場合の換気計画の一例を図-1に示す。

今回の調査では、現在の自動車が日韓トunnel内を走行できるか否かについて、換気の面か

クに比べ、公害面で極めて優れている。(実測では、窒素酸化物は〇・二五倍、黒煙は〇になる。表-3参照)更にメタノールが天然ガスから製造されたため、石油だけに依存しているトック燃料の多角化の決め手として現在、運輸省でも積極的な導入普及をすすめている。

メタノール自動車は、内外のメーカーが既に開発を進め、技術的問題はほとんど解決済みといわれており、燃焼効率、運動性能ともディーゼル車とほとんど変わらない。しかしユーティリティなど燃料供給体制が未確立のため、現在のところ国内ではメタノール仕様車は生産されていない。そのため(専)全日本トラック協会では試作車を作り、去年十一月、公開試験を行なうなどP.R.に努めている。

研究報告

対馬海峡の下に建設される日韓トンネルは、総延長で二百キロ^{メートル}を超す長大トンネルである。現在このトンネルの利用方法として、鉄道と道路が考えられているが、利用頻度と経済効果を考えると道路の方が有利となる。しかし一般に長大道路トンネルの場合、自動車から排出される有害ガスと燃煙の除去のため、大規模な換気設備が必要となってくる。そこで日韓トンネル研究会では、比留間豊氏を委員長として「道路換気小委員会」を設け、日韓トunnelでの換気問題を検討してきた。そしてその研究成果をもとに国際ハイウェイ建設事業団は、日韓トンネルの道路換気計画を東京道路エンジニア㈱に依頼し、研究会第三回総会でその結果を発表した。今回は、日韓トンネルでの道路換気計画の概要を紹介していく。

車両走行の可能性

日韓トンネル換気計画

すいという欠点もある。そのた
めトンネル内の最大風速は、毎
秒八・十㍍に制限されている。
それでこれまで主に、短い道
路トンネルで採用されてきた
が、翼型トンネル（一〇・八八
m）といふ点もある。そのた
めトンネル内の最大風速は、毎
秒八・十㍍に制限されている。
半横流式は、縦流式と横流式
の折衷方式で、送気ダクトのみ
設け、排気は車道を利用する場
合が多い。横流式に比べて、設備
費用も大きくなる。

濃度	許容値
たり)	50ppm
%	25ppm
%	50%透過率

利用した集じん機付縦流換気方式や集じん機付横流換気方式といったものになるであろう。また両方式の設備費と動力費を概算すると、縦流式の方がかなり有利になるとことがわかった。



国際文化財団創設者

文鮮明師

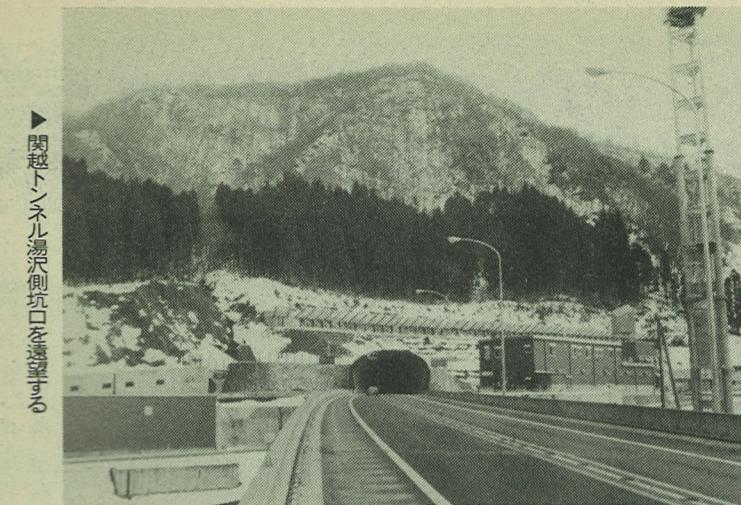
第八回科学の統一に関する
国際会議(一九七九年)
の講演より抜粋

次に私は、自然の領域において真理の探究を行なう際、科学には限界が存在する

古代の哲学者のように、科学は、宇宙の根本原因の探究といふことを申し上げておき

いう課題を自ら引き受けなければ

提唱者の言葉



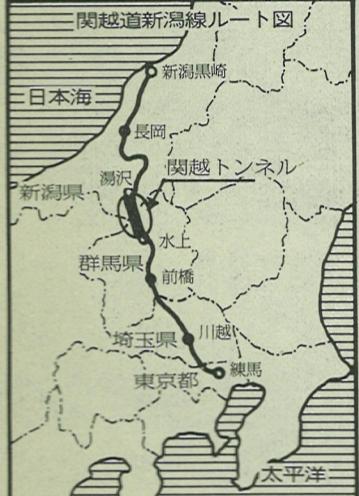
関越トンネル視察

日本一の道路トンネル

関越自動車道新潟線は、東京都練馬区を起点として高崎市、

前橋市、長岡市を経由して新潟市に至る、延長約三百キロの高速道路である。昭和四十三年に着工され、四十六年から順次供用されている。そして昭和六十年十月、前橋～湯沢間(延長七十九キロ)が供用となり、関越道新潟線は全線開通となった。

また前橋～湯沢間には、谷川岳連峰直下に掘削された関越トンネル(全長約十一キロ)があり、日本最長の道路トンネルとして一般供用となった。十二月初旬、国際ハイウェイ建設事業団の山岡建雄副理事長は、日本道路公团湯沢管理事務所を訪れ、長谷所長の案内でトンネル内を視察した。(第四面に関連記事)



トンネル内を走行

一行は車で関越道を走り、一

路

関越トンネルへ向かった。練

馬ICから約百四十キロ、二時間

足らずで群馬側の水坑口に到

着。道路は坑口近くで二車線の

対面交通となる。制限速度も時

速一千キロにスピードダウンする。

坑と連絡する扉がかなり密に配

置されており、防災に対する配

慮の情報が、整然と並べら

れています。

前方に長く突き出た坑口を通

り、トンネル内へ。

経路を重視

した断面設計のため、内部はや

や狭く感じられる。しかし照明

が行き届いていて明るく、運転

環境としては問題ない。またト

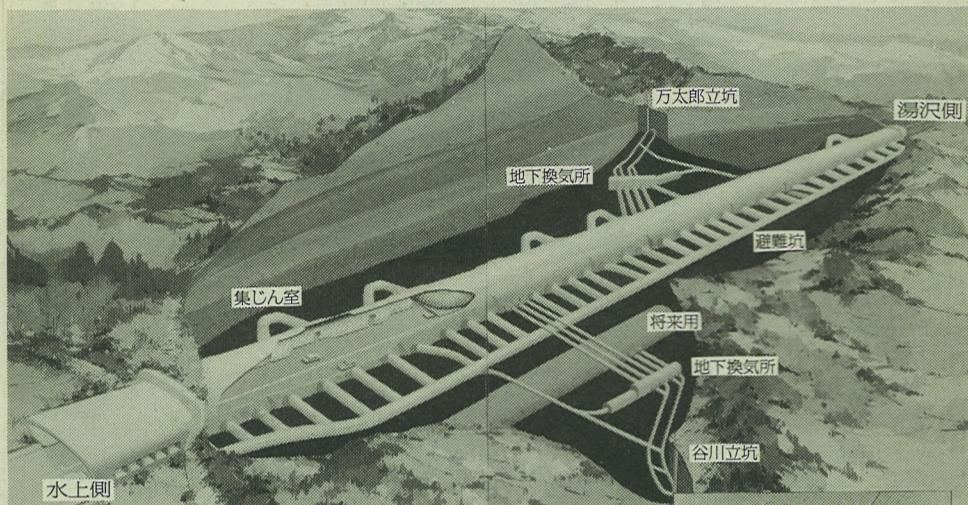
ンネル天井には、ジェットファ

ンが等間隔に取り付けられてい

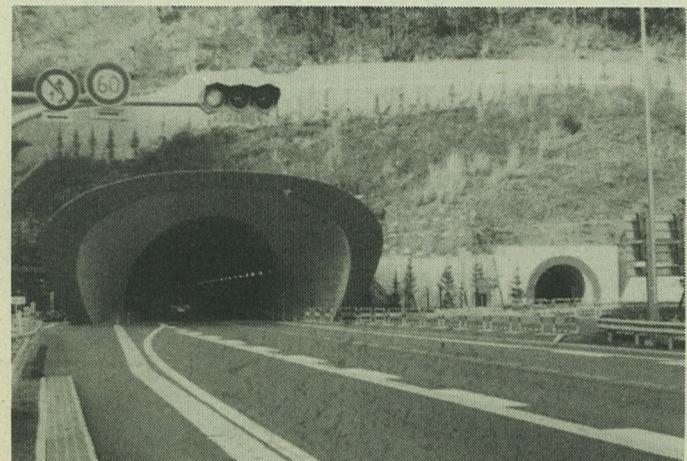
るが、通行車両が少ないためか

、運行車両が少ないためか

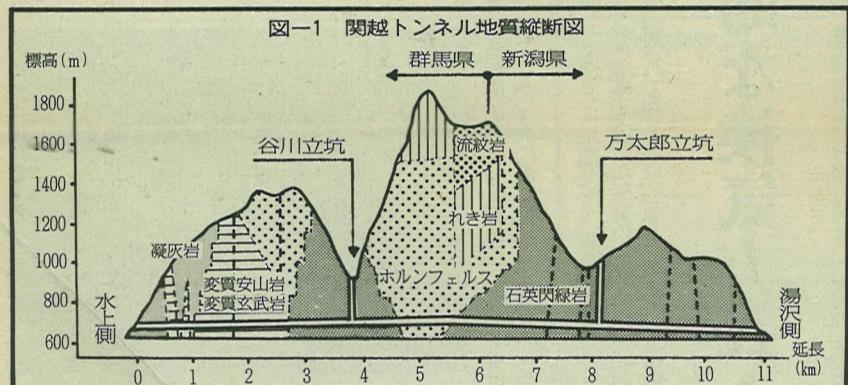
日韓トンネルの実現に貢献



関越トネルの概観イフスト



水上側坑口（左側が本坑、右側が避難坑）



油圧削岩機を搭載したガントリー・ジャンボ

口シタニエ道クたてシハ
できなものである。

上越国境にそびえる谷川岳連峰は、その急峻さゆえに関東平野と新潟平野をきさえぎり、人々の自由な往来を長く妨げてきた。現在、この山脈を南北に貫く関越トンネルが完成し、両平野は高速道路によって結ばれた。この道路の持つ意味は大きく、首都圏と日本海側との交流を活発にして、関連地域に対して社会的・経済的に大きな影響をもたらすものと考えられている。更に、日本最長の道路トンネル開通によって産み出された技術的蓄積は、今後の道路トンネル計画に大きな影響を与えてゆくであろう。ここでは、関越トンネル建設の概要を紹介しながら、日韓とのかかわり合いを探ってゆく。

特集

トンネルの概要

上越国境にそびえる谷川岳連峰は、その急峻さゆえに関東平野と新潟平野をさえぎり、人々の自由な往来を長く妨げてきた。現在、この山脈を南北に貫く関越トンネルが完成し、両平野は高速道路によって結ばれた。この道路の持つ意味は大きく、首都圏と日本海側との交流を活発にして、関連地域に対して社会的・経済的に大きな影響をもたらすものと考えられている。更に、日本最長の道路トンネル開通によって産み出された技術的蓄積は、今後の道路トンネル計画に大きな影響を与えてゆくであろう。ここでは、関越トンネル建設の概要を紹介しながら、日韓とのかかわり合いを探ってゆく。

道路ネット

ルン 技術

世界的水準の粹結集

トンネル技術の粹結集

関越トンネル

て、路面の消雪にあたっては、また災害時に備え、工事用の補助坑を避難坑として利用しており、三百五十匹^{ビッチ}で本坑との間に連絡横坑を設けて、マーカーにて本坑から避難坑に移動できるようになっている。更に避難坑は、救急車走行を前提とした断面形状であり、日本坂道ノル火災の教訓から、本坑の主要な電気ケーブル類はコンクリート中に埋設されている。



ハリコスターによる立坑への資材運搬

国際ハイウェイプロジェクト・日韓トンネル研究会

- 「日韓トンネル時報」(B5判) 500円(送料込)
- 「日韓トンネル研究」(B5判) 2,000円(送料別)

●振り込み先
三菱銀行渋谷支店(普) 5986474 振替 東京8-143133

●お申し込み先
窓口3-196-9211

国際ハイウェイプロジェクト 日韓トンネル研究会

会員募集

- | | | | |
|---------|----|----|--------------|
| 1. 正会員 | 年額 | 1口 | 5,000円 |
| 2. 賛助会員 | 年額 | 個人 | 1口 10,000円以上 |
| | 年額 | 法人 | 1口 50,000円以上 |

〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12
新大宗ビル 3号館930号室 電話03-496-9211(代表)